

令和7年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（技術・家庭（家））

受験番号	中家庭	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があつたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上においてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 「幼児の生活と家族」に関する学習について、下の【学習計画】に沿って学習する。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

【学習計画】

時 間	○主な学習活動
事 前	○自分の成長を振り返る。(ア)
第1時	○自分の成長の振り返りや地域の人々の思いを基に、幼児との関わりを考え、課題を立てる。
第2～9時	○課題を解決するための学習計画を立てる。 ○幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身の発達の特徴について話し合う。(イ) ○幼児と中学生の生活時間を比較し、幼児の生活習慣や、幼児にとっての家族の役割について話し合う。(ウ) ○幼児の遊びの意義や幼児との関わり方を調べ、触れ合い体験計画を立てる。(エ) ○模擬触れ合い体験を行い、計画を見直す。 ○幼児教育施設で、幼児との触れ合い体験をする。(オ)
第10時	○幼児と関わった感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。

- (1) (ア)において、題材の学習を始める準備として、家庭で自分の成長を振り返る活動を設定することとした。生徒に自分の成長の振り返りをさせる具体的な活動例を1つ書きなさい。
- (2) (イ)について、次の①、②の問いに答えなさい。
- ① 幼児の心の発達について、生徒に理解させたい幼児期の認知の特徴を1つ書きなさい。
- ② 幼児の体や運動機能の発達には、個人差があることを生徒に理解させたいが、個人差があること以外にも生徒に理解させたいことを2つ書きなさい。
- (3) (ウ)において、生徒が自分たちと幼児の生活時間を比較し、幼児の生活の特徴を次のようにまとめた。後の①、②の問いに答えなさい。

【生徒がまとめた幼児の生活の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> ・幼児は、{ <ul style="list-style-type: none"> 遊びを中心とした1日を過ごしている。 昼寝 (A) をするなど全体の睡眠時間が長い。 3回の食事以外にも間食 (B) をとる。
--

- ① (A)の昼寝について、生徒から、「昼寝をすることと生活リズムを整えることは関係があるのか。」と質問があった。幼児にとっての昼寝と生活リズムの関係について、生徒への説明を書きなさい。
- ② (B)の間食が幼児にとって必要な理由を、幼児の胃の大きさに触れて書きなさい。
- (4) (エ)において、幼児の遊びには伝承遊びがあることを取り上げた教師の意図を説明しなさい。また、「伝承遊びのおもちゃ」、「道具を使わない伝承遊び」を1つずつ書きなさい。
- (5) (オ)において、幼児と関わる際に、安全面と衛生面で生徒に配慮させたいことを、それぞれ1つずつ書きなさい。

2 「日常食の調理と地域の食文化」に関する学習において、郷土料理を扱うこととした。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 下の【学習プリントの一部】は、生徒が群馬県の郷土料理として「こしね汁」について調べたことを記述したものである。後の①～③の問いに答えなさい。

【学習プリントの一部】

1 調べた郷土料理名 「こしね汁」

2 特徴

○主な伝承地域 群馬県西部地区

○主な使用食材 こんにゃく しいたけ ねぎ

※この3つの材料以外にも使う野菜やみそは家庭によって異なる。

ごぼうやにんじん、豚肉など、地域で採れる食材をたっぷり加える。

○名前の由来 使用食材の頭文字「こ」と「し」と「ね」を取っている。

3 材料(4人分)

・こんにゃく	40 g	・しいたけ	35 g	・ねぎ	20 g	・ごぼう	25 g
・豚肉	80 g	・みそ	35 g	・油	3 g	・だし汁	550ml

4 調理手順

○下準備

・こんにゃくは、食べやすい大きさに切り、下ゆでしてアクを抜く(ア)。

・ごぼうは、斜め薄切りにして、水にさらす(イ)。

① (ア)について、生徒から、「アクとは何か。アクを抜かないとどうなるのか。」と質問があった。食材に含まれるアクについて、解答欄の書き出しに続けて生徒への説明を書きなさい。

② (イ)について、ごぼうを水にさらす理由を書きなさい。また、水にさらす時間は5分程度とされる理由も書きなさい。

③ 地域の食材を用いた和食の調理として、「こしね汁」を取り上げた教師の意図を書きなさい。

(2) 「こしね汁」の調理実習を行う前に、調理実習で使用する食品の表示調べをする活動を設定した。次の①～③の問いに答えなさい。

① 食品表示法により、しいたけやねぎなどの生鮮食品に義務付けられている表示を2つ書きなさい。

② こんにゃくの表示を調べていたある生徒が右のマークを見付けた。
生徒が見付けたこのマークの名称とその意味を書きなさい。

③ 食品によっては、安全性を確保するために、食品のトレーサビリティ制度に基づく表示が義務付けられているものもある。食品のトレーサビリティとは何か書きなさい。

3 「住居の機能と安全な住まい方」に関する学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 下の【学習用端末画面の一部】は、住まいの安全に関する経験や疑問等を共同編集ソフトで書き込んだものである。後の①～③の問いに答えなさい。

【学習用端末画面の一部】

新築の家に引っ越したときに、しばらくの間、目がかゆくて鼻水が止まらなかった(ア)ことがある。	地震の対策(ウ)をしたいが、具体的に何をすればよいか分からない。
一番下の妹はまだ小さいから、家具や柱の角にクッションを付けている。	おじいちゃんが、昔地震にあつて避難所で生活したときは大変だったと言っていた。
家では災害に備えてローリングストック(イ)をしている。	町のハザードマップを見ながら、もし災害にあつたらどこに避難するかを家族で話したことがある。

- ① (ア)のような、住まいが原因となって起こる体調不良を何というか書きなさい。また、その原因と対策を書きなさい。
- ② (イ)について、生徒から「ローリングストックと非常食の備蓄は同じか。」と質問があつた。ローリングストックについて、生徒への説明を書きなさい。
- ③ (ウ)のような、自然災害への対策についての記述が多く見られたことから、右の図を示し、地震への備えとして住空間の整え方を考える活動を設定した。生徒に理解させたい対策を3つ書きなさい。

(2) 生徒に理解させたい幼児や高齢者に起こることが多い家庭内事故を1つずつ挙げ、幼児や高齢者の体や行動の特徴に触れて、対策をそれぞれ書きなさい。

(3) 消防法により、新築住宅では2006年から、既存住宅では2011年から寝室等への設置が義務付けられているものは何か書きなさい。

4 「消費生活・環境」に関する学習について、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 2022年4月より、成年年齢が引き下げられ、親の同意がなくても18歳からクレジットカードを作り、利用できるようになったことから、クレジットカードによる三者間契約を取り上げ、二者間契約と比較することとした。生徒に理解させたい三者間契約の利点と問題点をそれぞれ1つずつ書きなさい。
- (2) 現行の「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編」では、キャッシュレス化の進行に伴い、小・中・高等学校の内容の系統を図り、中学校に金銭の管理に関する内容が新設されている。中学校における計画的な金銭管理の学習は、高等学校のどのような内容につながるかを書きなさい。
- (3) 下の【生徒の記述】は、国際消費者機構が提唱している消費者の8つの権利と5つの責任について調べたことを記述したものである。後の①～③の問いに答えなさい。

【生徒の記述】

8つの権利	5つの責任
<ul style="list-style-type: none"> ・安全を求める権利 ・ (ア) 権利 ・ (イ) 権利 ・意見が反映される権利 ・消費者教育を受ける権利 ・補償を受ける権利 ・生活の基本的ニーズが保障される権利 ・健全な環境を享受する権利 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (ウ) 責任 ・ <u>主張し行動する責任 (エ)</u> ・自分の行動が他者に及ぼす影響を自覚する責任 ・環境への配慮をする責任 ・消費者として団結し、連帯する責任

- ① (ア) (イ) に入る、生徒に理解させたい消費者の権利を書きなさい。
- ② (ウ) に入る、生徒に理解させたい消費者の責任を書きなさい。
- ③ 購入した物資やサービスに問題があった場合に、下線 (エ) を果たすことは、どのようなことにつながるか書きなさい。
- (4) 消費者の権利と責任について、中学生にとって身近な消費者被害と関連させて扱う場合の具体的な活動例を1つ書きなさい。

家庭 解答用紙	2枚中の1	受験番号	中家庭	氏名	
---------	-------	------	-----	----	--

(7年)

※欄には記入しないこと

1	(1)			※	※
	(2)	①		※	
		②			
	(3)	①		※	
		②			
	(4)	(意図)		※	
		(おもちゃ)	(道具を使わない)		
(5)	(安全面)		※		
	(衛生面)				

2	(1)	①	アクとは、	※	※	
			アクを抜かないと、			
		②	(さらす理由)			※
			(5分程度の理由)			
		③				※
	(2)	①		※		
		②	(名称)			※
		(意味)				
③		※				

家庭 解答用紙	2枚中の2	受験 番号	中家庭	氏 名	(7年)
---------	-------	----------	-----	--------	------

※欄には記入しないこと

3	(1)	①	(名称)	※	※	
			(原因)			
			(対策)			
	(2)	②		※		
	(2)	幼児	③	(家庭内事故)	※	
				(対策)		
		高齢者	③	(家庭内事故)	※	
(対策)						
(3)			※			

4	(1)	(利点)	※	※	
		(問題点)			
	(2)		※		
	(3)	①	(ア)	(イ)	※
			(ウ)		
		③		※	
	(4)			※	

以下はあくまでも解答の一例です

家庭	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中家庭	氏名
----	------	-------	------	-----	----

(7年)

※欄には記入しないこと

1	(1)	家族へインタビューし、生まれてから現在にいたるまでの自分の成長に関わった人たちを調べる。 など		※ 6	※ 50	
	(2)	①	周囲も自分と同じように感じているといった、自分を中心に物事を考える時期があること。生命のないものにも自分と同じように命や意識があるととらえること。 などから1つ	※ 12		
		②	方向性があること	順序性があること (※順不同)		
	(3)	①	昼寝をすると体や脳が休まるので、その後の活動が活発になり、お腹がすけばしっかり食事を食べられ、夜にはぐっすり眠れるようになるという生活リズムができる。 など			※ 6
			胃の大きさが小さい幼児は、一度にたくさんの量を食べることができず、不足しがちな栄養素を取り入れる必要があるため。 など			※ 6
		②				
	(4)	(意図) 昔から子どもたちの間で受け継がれてきた伝承遊びは、日本の生活文化の継承にも関わることに気付けるようにするため。 など		※ 10		
		(おもちゃ)	(道具を使わない)			
		こま お手玉 けん玉 おはじき などから1つ	おしくらまんじゅう おにごっこ などから1つ			
	(5)	(安全面) 激しい動きは控える。大きな声や乱暴な声を出さない。 などから1つ		※ 10		
(衛生面) 爪を短く切っておく。髪が長い場合は束ねておく。 などから1つ						

2	(1)	①	アクとは、 食材に含まれる渋みやえぐみ、苦み など	※ 12	※ 50	
			アクを抜かないと、えぐみが残り、仕上がりの味が落ちる など			
		②	(さらず理由) ごぼうは空気に触れると褐変するため など	※ 12		
	(5分程度の理由) 長く水につけると、ごぼうの風味が弱くなったり、栄養が流れ出たりしてしまうため など					
	③	地域の食材を用いた和食の調理については、だしを用いた煮物又は汁物を取り上げるため など		※ 6		
	(2)	①	名称	原産地 (※順不同)		※ 6
			(名称) eマーク			※ 8
		(意味) 品質のよい地域の特産品である食品				
	③	食品がいつ、どこで生産され、どのような加工、流通をして消費者に届いたのかを追跡できる仕組みなど		※ 6		

以下はあくまでも解答の一例です

家庭	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中家庭	氏名	(7年)
----	------	-------	------	-----	----	------

※欄には記入しないこと

3	(1)	①	(名称) シックハウス症候群	※ 15	※ 60
			(原因) 接着剤や塗料などに含まれる化学物質によって室内の空気が汚染されるため。 など		
			(対策) 換気扇を使ったり、窓を開けたりして新鮮な空気を取り入れる。 など		
	(1)	②	普段から少し多めに買って置き、使った分だけ買い足すというように、日常生活で消費しながら常に	※ 6	
			一定量を備蓄しておく方法。 など		
	(1)	③	・本棚は、突っ張って固定したり、壁に固定したりして転倒を防ぐ。 ・窓ガラスは、ガラス飛散防止フィルムを貼る。 ・壁掛けの時計はワイヤー等でしっかり固定する。 ・吊り下げ式の照明はチェーン等で固定する。 ・非常用持ち出し袋をベッドの下に置いておく。 などから3つ	※ 15	
	(2)	幼児	(家庭内事故) 窒息 溺死 などから1つ	※ 10	
			(対策) 幼児は何にでも興味を示し、口に入れることがあるため、さわったり口に入れたりしては 困るものを手の届くところにおかない。 など		
		高齢者	(家庭内事故) 転倒・転落 溺死 などから1つ	※ 10	
		(対策) 高齢者は平衡感覚や視力が低下し、つまずきやすくなるため、手すりを付けたり、照明を 明るくしたりする。 など			
(3)		住宅用火災警報器 など	※ 4		

4	(1)	(利点) 現金を持ち歩かなくても買物ができる。 など	※ 12	※ 40	
		(問題点) クレジットカードを紛失すると、悪用される可能性がある。 など			
	(2)	長期的な経済計画や家計収支等についての学習 など	※ 6		
	(3)	①	(ア) 知らされる	※ 16	
		②	(ウ) 批判的意識をもつ		
		③	同じトラブルや被害を防ぐことができる。 など		
	(4)		通信販売の利用で消費者被害にあった場合を取り上げ、どのような消費者の権利が侵害されているのか、	※ 6	
		消費者の責任として何をすべきなのか話し合う活動 など			